Reach Within to Embrace Humanity
こころの中を見つめよう、博愛を広げるために

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2月は
世界理解月間

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2550
http://www.rid2550.com/

FEBRUARY
2011-2012
VOL. 08

2月23日は「ロータリー創立記念日」

第2550地区ガバナー　比企 達男

左　比企達男ガバナー、右　鈴木宏ガバナーエレクト

2012年、平成24年にも少しずつ馴染んできた感じですが、ロータリーはこれからＩＭ開催のシーズンです。ガバナー補佐、カウセラーの協力を得て、研修に親睦に友情の輪をさらに広める良い機会です。小生もできる限り参加する予定です。

鈴木宏ガバナーエレクトは１月15日にサンディエゴでの国際協議会等に向けて出発され、１週間の研修を受け帰って来られましたので、月信３月号では、次年度ＲＩテーマを知ることができるでしょう。駅伝でいえばウォーミングアップ充分な次期走者の鈴木ＧＥが、小生からタスキを引き継ぐため、こちらを向き小刻みに助走に入ろうとしているところです。

２月号の「ロータリーの友」をお読みになられたことと思いますが、各地区ガバナーのショートメッセージが掲載されています。小生も「ロータリーと東日本災害復興支援」と題して投稿いたしました。皆様のご意見をぜひ伺わせてください。

さて、月信２月号は「世界理解月間」であり、２月23日は「ロータリー創立記念日」および「世界理解と平和の日」です。

1905年２月23日、木曜日、鉱山技師ガスタバス・ローア、石炭商シルベスタ・シール、仕立屋ハイラム・ショーレイの３人が、あまり広くない照明も明るいとはいえないガスの事務所に集まっているところに、一足遅れて弁護士ポール・ハリスが入ってきました。ポールが考え、語っていた構想を聞くために４人が初めて集まり、「天才の片鱗」をうかがわせるポールの構想に聴き入るうち、３人の想像を刺戟し、小さな夢を抱かせることになるのです。この構想が今日、世界中の心を捉えることになろうとは。こうして２月23日は、後に「ロータリー創立記念日」に定められ、また、２月23日で始まる１週間を「世界平和週間」と呼び、ロータリー奉仕活動を強調することが決議されました。

各クラブとしては、それぞれの企画を、例会等において行って下さることをお願いいたします。

CONTENTS

ガバナーメッセージ …… 1
世界理解月間について …… 2
ローターアクト月間について …… 3
宇都宮西ロータリー・クラブ創立50周年記念式典を開催　4
「星の家」に車両を贈呈 …… 4
ガバナー公式訪問だより …… 5,6
投稿・小クラブ老兵のひとりごと …… 7
新入会員、物故会員紹介 …… 7
12月会員増強・出席報告、文庫通信 …… 8

NEWS

ロータリーレート／1ドル=78円

・主要行事

2月 4 日(土) 2012-13年度地区チーム研修セミナー
第9グループIM
2月18日(土) 第2グループIM
第6,7グループIM
第8グループIM
2月19日(日) 第4グループIM
第5グループIM
宇都宮南ロータリー・クラブ創立30周年記念式典
2月26日(日) 2011-12会長エレクト研修セミナー（PETS）
2月28日(火) 宇都宮ロータリー・クラブ創立60周年記念式典
3月 3 日(土) 第3グループIM
3月25日(日) 2011-12地区協議会

世界理解月間について

宇都宮ロータリー・
クラブ会長
青木　直樹

宇都宮ロータリークラブにおける世界とのかかわり合いで特筆する事項としましては、アメリカのサンラファエルロータリークラブとの姉妹クラブを締結し、毎年お互いのロータリアンの子女を交換研修するプログラムを1971年から40年間にわたって続けていることです。2週間という短い期間でありますが、お互いのロータリアンの家庭で過ごして帰国した子どもたちの成長は目を見張るものがあり、国際人としての自覚と自信に満ち溢れて帰って参ります。

来日したお嬢さん方は、何人かのメンバーの家庭にホームステイして、日光や那須などの県内の名所や京都や東京にも案内したり、宮まつりに参加したりと日本の文化を味わってもらいます。ただスケジュールがかなりタイトになってしまうので、もっと違ったプログラムも考えて日本の本当の良さや生活・考え方を伝えることも今後の課題であります。

また､子女子だけではなく宇都宮クラブのメンバーも何度かサンラファエルロータリークラブを訪れたり、あちらのメンバーも宇都宮を訪れたりと交流を図っています。本年度は、残念ながら福島原発の影響もありアメリカからの来訪はありませんでしたが、宇都宮からは2名のロータリアンのお嬢さんが渡米しました。２人とも元気に帰国し、こんな感想を寄せてくれました。

「アメリカの人たちが日本のことに思ったよりも関心を寄せてくれていて驚きました。日本のことを心配してくれていました。アメリカの気軽な人間関係がとても良いと思いました。例えば、レジで並んでいるときでも店員さんが『How are you?』などと言って話しかけてくれるし、店を出るときには『楽しんで』みたいなことを言ってくれます。こういう誰にでも声を掛け合うところはアメリカの大好きなところの一つになりました。ホストファミリーの方々をはじめ､たくさんの人に親切にしていただきました。恩返しできることがあったらしたいです。また実際にアメリカに行って、アメリカの良いところ、悪いところを知ることができて本当に貴重な経験ができました」。

そしてご両親からは「高校生２人での参加でしたが、世界中つながっているロータリークラブという安心感があり参加させることができました。ありがとうございました。ホームステイをし、大人の外国人と接し、外国人とコミュニケーションをすることに対してのハードルがかなり低くなったようです。学ぶ英語から使う英語を経験し、英語に自信を持ったようです。ここまでのことを経験させてくれたロータリークラブへの理解が深まり、感謝しているようです。帰ってきてから少々アメリカナイズされ、自己主張が多くなり親とぶつかることも多くなりましたが、大人へのステップの一つとして見守っています。親のいない初めての海外とのことで本人も不安でしたが、やれば何とかなると自信がもてたようで、早く一人暮らしがしたいと言うようになりました」。

こんなコメントをいただきました。今年度は残念ながらアメリカからの留学生は来ませんでしたが、来期はぜひとも交流を復活させ､このプログラムを通して次代を担う若者にお互いの国に関心を持ち､良いところ､悪いところを知ってもらうとともに、また日本の現状も伝えていきたいと思います。

ローターアクト月間について

2011-2012年度　地区
ローターアクト委員長
島田　将行
（足利東RC）

突然ですが、ロータリアンの皆さんはローターアクトについてご存知でしょうか？

おそらく、ご存じない方が半数以上ではないかと思います。ロータリアンの半数以上がご存じないローターアクトは、一般の市民においてはさらに知名度は低いのです。その原因は、ロータリアンの無関心にあるのかもしれません。

昔は数多くのローターアクトクラブ（以下RAC）が2550地区にも存在して活動していました。しかし、今は宇都宮東と足利東の２クラブだけになってしまいました。RACはロータリークラブ（以下RC）と同じく「奉仕活動をする団体」です。クラブが消滅するということは、そこに魅力を感じる人が少ないという点もありますが、その母体であるRCが積極的にRACの活動や存在をバックアップしたり宣伝していないことにあるのかもしれません。

ローターアクトクラブは以下の目標を掲げています。

・職業およびリーダーシップ技能を養成する
・個人の価値を認めるという基本に基づき、他人の権利を尊重するよう強調する
・あらゆる有用な職業に奉仕の機会としての尊厳と価値を認める
・リーダーシップの資質および職業上の責務としての道徳基準を認識、実践、推進する
・地元地域および世界中のニーズ、問題、機会に対する知識や理解を深める
・地域社会に奉仕し、国際理解とあらゆる人々に対する善意を推進する個人や団体の活動のために機会を提供する

さらに「ロータリー家族の一員」です。

RCの未来について将来を考えた場合、そこに焦点を当てるとRACがその位置にくる、ということになります。

今、RCが注力している【新世代】の活動の中心にくるのが、RACなのです。

ぜひ、ロータリアンの皆様にはその認識を強く持っていただき、RACに対しての関心を高めていただきたいと思います。

実は、ロータリークラブが地域社会で実践できる最も豊かな活動が「ローターアクトクラブの結成と活動のバックアップ」です。

ローターアクトのプログラムによって、ロータリアンは地域社会と世界社会への奉仕活動に関心を持つ「活動的な青年男女」を指導する機会に恵まれます。

RACは、その代わりとしてRCに新しい活力をもたらし、奉仕の斬新なアイデアを提起し、プロジェクトの支援を行い、その結果として将来のRC会員を育成するのです。

現在、当地区ではRACの存続に対して黄信号が灯っています。しかしながら、他地区を見ると数多くのRACが積極的に活動をしており、その成果も大きいです。当2550地区だけが取り残されていると言っても過言ではありません。将来のためにもローターアクトクラブの灯を消すわけにはいきません。

未来のRCを案ずる皆様が、今まで以上にRACへの関心とご支援ご協力をいただくことを心より祈念いたしまして、ローターアクト月間のごあいさつとさせていただきます。

宇都宮西ロータリー・クラブ創立50周年記念式典を開催

宇都宮西ロータリー・クラブ
創立50周年記念実行委員会委員長　伊東　永峯

比企ガバナーをお迎えして行われた宇都宮西ロータリー・クラブの創立50周年記念式典

平成23年12月10日（土）、宇都宮グランドホテルにて、澄み渡る素晴らしい晴天のもと宇都宮西ロータリー・クラブ創立50周年記念式典が開催されました。当日は地区内から比企ガバナーをはじめ、たくさんのご来賓の方々をお迎えし、朋友会員・元会員の方々も交え、親睦を深めることができました。

今回の50周年を迎えるにあたり、テーマを「50年の歩みに携わった多くの会員に感謝を込め　あるべき未来に向かうために……」とし、宇都宮西ロータリー・クラブの歴史を、会員一人ひとりが自覚して、将来の私たちがどこへ向かうべきなのかを考える大切な機会としようと考えました。式典の中では、日ごろからクラブ内で実施している奉仕活動を紹介し合い、村上パストガバナーからは、25年１世代と考えると、宇都宮西ロータリー・クラブでは、次の2代目の世代が主役となり、3代目がこれから頑張ってほしいとの激励をいただきました。続く記念講演では、ＲＩ2800地区のパストガバナーで当クラブとは御縁の非常に深い藤川享胤様から「随処に主となる」との演題でご講演をいただき、これからの日本のロータリー・クラブが進むべき方向や、ロータリー活動のみならず家庭や教育・社会の中でも、それぞれのロータリアンが自覚を持って活躍していくべきとのご教示がありました。

夕方から開催された祝宴では、スライドショーを見ながら懐かしいクラブの話に盛り上がり、各テーブルではご来賓の方々から地区内の情報を聞かせていただき親睦を深めながら勉強をしてまいりました。会員一人ひとりが準備を進め当日を迎えるにあたって、地区内での当クラブの役割や職業を通しての地域の中でのリーダーシップの取り方などを考える大切な機会になったことと自負しております。

式典だけではなく年度内に続く創立50周年記念事業を通じて、宇都宮西ロータリー・クラブがロータリーの原点を見直し、未来に大きく羽ばたくスタートのきっかけとなることを願って報告とさせていただきます。

「星の家」に車両を贈呈

宇都宮北ロータリー・クラブ　幹事　小倉 和己

宇都宮北ロータリー・クラブ（山本直由 会長）は、R財団地区補助金を利用したプロジェクト「社会的養護者の自立支援」を立ち上げ、宇都宮市清住で社会的養護者の自立支援を行うＮＰＯ法人「星の家」(星俊彦 ホーム長)へ車両1台を12月８日贈呈しました。

「星の家」は、15～20歳までを対象とした「学校に行けない子どもや被虐待児、家庭の機能しない子どもたち」に対し、物心両面からの支援を行う施設です。

「星の家」に車両の寄贈を行う
宇都宮北ロータリー・クラブの会員

「星の家」理事長福田さんに卓話をいただいた際に「車がないため、養護者の負担が大きく、子どもたちの就職活動にも不便をかけている」という話を聞き、社会奉仕委員会（佐藤晃 委員長）を中心に車両の贈呈を計画したものです。

贈呈された車両は、クラブに所属する会員が使わなくなった車を無償で寄贈したもので、車両整備を営む会員が車検、整備を行い、走行できる状態にして贈呈しました。

このほかにも、通学等に利用していただくため新年度に向けて「自転車」を寄贈したり、高額商品などを購入させる社会的弱者を狙った悪徳商法が散見されるという話から、印鑑を押す前に注意を喚起させる目的で、注意文言を表記した「印鑑ケース」を贈る計画や、 地域小学生を対象にした「寺子屋活動」にも参加いただき親睦を深める予定です。

青少年たちの自立支援の一助となることを願います。

ガバナー公式訪問だより

会長：藤橋岩夫　幹事：天下井正弘

岩舟ロータリー・クラブ

日時：2011年11月1日(火)
会場：岩舟会館

11月1日（火）岩舟会館において、比企ガバナー公式訪問が開催されました。午前中の懇談会から、藤橋会長をはじめとする岩舟クラブのメンバーからの質問が相次ぎ、懇談会は和気あいあいの中、終了しました。ガバナーには、岩舟クラブの特徴とも言える、職業奉仕の表彰や小中学生の善行篤行児童生徒の表彰などに、特に関心を持っていただけたと思います。

例会では、ガバナーの卓話に続いて、炉辺会合を行い、岩舟クラブのメンバーからの質問に、比企ガバナーが明快に回答され、参加者全員が、とても充実した時間を過ごすことができました。例会終了時に、「岩舟ロータリークラブの歌」を全員で斉唱し、公式訪問を締め括りました。第９グループの取りにふさわしい公式訪問だったと思います。最後に、比企ガバナーのますますのご活躍、岩舟クラブのご発展をご祈念申し上げて、公式訪問のご報告といたします。

会長：佐山謙三　幹事：寺内治雄

栃木ロータリー・クラブ

日時：2011年11月2日(水)
会場：栃木グランドホテル

10月12日(水)、午前10時30分、比企達男ガバナー、随行の鈴木洋平様、山口武夫ガバナー補佐、をお迎えいたしました。栃木グランドホテルにおいて、当クラブは会長、幹事、大木副会長、高田情報委員長の参加のもと懇談会が始まり、多くのご指導をいただくことができました。例会に入り比企ガバナーの卓話をいただきました。地区大会で表彰された会員への労いの言葉、親子でロータリアンがいる古いロータリークラブへの思い、ＲＩテーマのご説明など、分かりやすいスピーチを聞かせていただき、会員一同感激し拝聴いたしました。その後のクラブ協議会では各委員会の委員長より、活動の現状と問題点、ご指導を仰ぎたい点などまで、的確なご指導をいただき、有意義な時間を過ごすことができました、今後のクラブ運営に活かしてまいります。最後に、比企達男ガバナーのますますのご活躍とご健康をご祈念申しあげます。

ガバナー公式訪問だより

会長：青木直樹　幹事：阿部欣文

宇都宮ロータリー・クラブ

日時：2011年11月8日（火）
会場：宇都宮東武ホテルグランデ

青木会長は「凄いぞ！ロータリー」とクラブのテーマを掲げられました。ガバナーも興味を示され、ポール・ハリスのロータリー創立の原点に匹敵する、さすが地区で一番の歴史を持つクラブの会長様の意気込みと決意を感じました。

クラブ独自のものとして、支店長の会員様が多いということで「単身赴任の会」があり、東京支部会もあるそうです。米国の姉妹クラブ、サンラフェールRCとの国際的親睦活動は40年間継続されており、女子の子弟の交換が続いていることも特筆すべきでした。子どもたちの将来を考える100年委員会も息の長い活動となるように期待されるところです。

60周年を迎えるに当たり、人間でいえば還暦であり、新たなスタートラインに立って「どうだ凄いだろう」といえるクラブづくりを目指しておられます。

伝統の中に若い会員も多く、さらなる躍進が感じられました。

会長：若月章男　幹事：坂本昭一

宇都宮南ロータリー・クラブ

日時：2011年11月9日（水）
会場：ホテルニューイタヤ

ガバナー公式訪問もいよいよ終番となりましたが、第３グループＢ初の公式訪問が開かれました。午前中の会長幹事懇談会は、「私のクラブと宇都宮南RCとは同じ宇都宮東RCをスポンサーとする兄弟クラブ」というガバナーのあいさつで大変穏やかな中開催され、クラブの主な活動内容を役員の方から伺いました。ガバナーは、米山や財団の寄付金について地区の目標をいつも上回っていること、特に米山は地区内第８位という素晴らしい点などご指摘になりました。

例会では、今年度のRIのテーマと、ロゴマークの説明を中心に、ロータリーの歴史と哲学の話をわかりやすくお話され、会員の皆さんは熱心に聴講されました。例会終了後の炉辺会議では、各委員長より活動目標や問題点の発表があり、特に地区内に今２つしかないローターアクトクラブの創立に向けて準備したい点など、素晴らしい活動目標を賞賛されました。

投稿 小クラブ老兵のひとりごと

馬頭小川ロータリー・クラブ　川又　茂三

かつて「何も教えてもらったことがない」と言う者がいた。私の持論、ロータリーは自分で考え行動すること。先輩（地区やクラブ）は手取り、足取り教えてくれない。当たり前のことである。ロータリーは保育所や幼稚園ではない。ロータリーを理解するにはロータリーの経験年数を経て得られるものと思う。この場合の経験とは「クラブ例会に出席すること」「地区の会合に出席すること」「ロータリーの出版物を読むこと」「奉仕活動に参加すること」などを言うのであって、これを怠る者はロータリー経験者とは言わない。入会５年生、10年生になっても経験ゼロに近い会員が存在する。クラブによって何人いるかは別として、ほとんどのクラブに存在すると思う。

そこで今回は経験の一つ「例会出席」について考えてみる。ガバナー月信にも昔ほどではないが、小さく出席率が掲載されている。クラブには出席委員会があり、例会では出席係が出席報告をする。昔ほどメイクの厳しさは感じられない。出席率の低い会員に対する対応には腐心しているように思うが、会員減少を恐れるあまりか、触らずの面もあるように思う。しかしこの出席率の低い会員（例会時間に合わせられないことのある特別な職業の会員は別として）はクラブに対して年会費の面では貢献しても、他のことでは大きなマイナス要因となっている。それは新会員に対して悪い見本となること。外から見て「あれでロータリアンなの」と思われる可能性が高いこと。さらに、いつの日か退会した後には、地域に正しいロータリーを伝えるのではなく、間違ったロータリーを吹聴する可能性が高いこと。これらは会員増強の大きな足かせになるのである。

第2550地区　新入会員紹介

檜山 真（ひやま まこと）
（宇都宮ＲＣ）
（株）花の器
代表取締役
H23.7.5入会
歴史と伝統のある宇都宮ロータリークラブに入会させて頂き光栄です。

東 慶一郎（ひがし けいいちろう）
（宇都宮RC）
大和証券㈱宇都宮支店
支店長
H23.7.5入会
県内の温泉をくまなく巡りたいと思っています。

石井 貢（いしい みつぐ）
（宇都宮RC）
宇都宮証券㈱
代表取締役社長
H23.7.5入会
新人として頑張ります。よろしくお願いいたします。

門田見岳史（かどた みたけし）
（宇都宮RC）
（株）JTB関東法人営業宇都宮支店　支店長
H23.7.5入会
珍しい苗字ですので覚えていただければと存じます。よろしくお願いします。

江戸 浩（えど ひろし）
（真岡西RC）
㈱筑波銀行真岡支店
支店長
H23.10.1入会
これからよろしくお願いします。少しでも役に立てるよう頑張ります。

小川 典重（おがわ のりしげ）
（大田原中央RC）
（株）小川工務店
代表取締役
H24.1.1入会
未熟者ですが皆様のお力をお借りしながら頑張っていきたいと思います。

上野 耕司（うえの こうじ）
（佐野ＲＣ）
（株）勢和運輸
代表取締役
H24.1.16入会
今生かされていることに感謝を一生懸命に努力するのみ前進するのみと思う。

山川 政樹（やまかわ まさき）
（宇都宮北ＲＣ）
（株）山形銀行宇都宮支店
支店長
H24.1.19入会
宇都宮に支店を開設して、40年。ますます地元密着の金融を目指し頑張ります。

物故会員

謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈り申しあげます。

物故
平成23年12月12日
享年96歳
野田 滋行（のだ しげゆき）様
（粟野西方RC）

■ロータリー歴
初代会長(1989-1990)
ロータリー財団委員長(1991-1992、2010-2011)
米山記念奨学委員長(1992-1993)
■財団、米山記念奨学会などの寄付歴
（PHF、米山功労者）
ロータリー財団表彰、米山功労者表彰9回
マルチポールハリスフェロー　3回
ベネファクター　1回　　長寿会員表彰

物故
平成23年12月9日
享年85歳
若色 直資（わかいろ なおすけ）様
（栃木RC）

■ロータリー歴
第30代会長（1983-1984）
■財団、米山記念奨学会などの寄付歴
（PHF、米山功労者）
ポールハリスフェロー
マルチプル　米山功労賞　6回

国際ロータリー第2550地区　12月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	例会数	12月出席率		会員数							
			今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第1グループ	大田原	4	80.62	88.41	34	33	0	2	1	-1	-1	2
	黒磯	4	90.20	95.08	43	43	0	2	0	-2	-2	2
	西那須野	3	85.83	89.54	39	40	0	0	1	1	1	0
	黒羽	4	93.75	93.91	16	16	0	0	0	0	0	1
	那須	4	75.00	71.72	12	12	0	0	0	0	0	1
	塩原	3	70.37	70.99	9	9	0	0	0	0	0	0
	大田原中央	3	75.00	76.16	27	27	0	0	0	0	0	2
第2グループ	烏山	3	100	94.37	12	12	0	0	0	0	0	1
	氏家	4	83.70	88.95	23	25	0	0	2	2	2	0
	矢板	3	59.90	60.95	28	28	0	0	0	0	0	4
	馬頭小川	5	82.87	83.06	21	19	0	2	0	-2	-2	0
	高根沢	3	83.30	78.68	18	18	0	0	0	0	0	0
第3グループA	宇都宮	3	75.70	74.40	87	92	0	0	10	5	5	0
	宇都宮西	4	94.05	89.15	68	68	0	0	1	0	0	0
	宇都宮北	4	82.49	80.59	45	47	0	0	2	2	2	0
	宇都宮90	3	89.40	85.68	40	38	0	3	1	-2	-2	4
	宇都宮陽北	3	85.71	84.12	29	29	0	1	1	0	0	3
第3グループB	宇都宮東	3	94.05	93.90	92	91	0	1	1	-1	-1	0
	宇都宮南	3	79.48	85.70	45	44	0	1	0	-1	-1	0
	宇都宮陽東	3	78.00	77.97	42	43	0	0	1	1	1	0
	宇都宮陽南	4	75.00	88.85	17	16	0	0	0	-1	-1	2
第4グループ	真岡	4	89.60	88.67	51	53	0	0	2	2	2	0
	益子	3	95.30	93.02	29	29	0	0	0	0	0	0
	真岡西	3	95.10	87.20	37	36	0	2	2	-1	-1	5
	しもつけ	3	97.78	93.96	33	33	0	0	0	0	0	9
第5グループ	小山	3	96.70	97.42	38	38	0	0	0	0	0	0
	小山南	4	100	97.56	19	19	0	0	0	0	0	2
	小山東	4	86.87	88.91	33	33	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	78.26	80.09	23	23	0	0	0	0	0	0
	小山中央	5	68.00	73.83	22	22	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃木	4	87.50	86.17	34	35	0	0	1	0	1	0
	栃木西	4	81.16	85.68	33	32	0	0	0	1	-1	0
	壬生	5	74.33	67.56	19	18	0	0	0	1	-1	2
	栃木南	4	95.00	86.72	30	30	0	0	0	0	0	5
第7グループ	日光	4	73.75	73.95	24	24	0	0	0	0	0	5
	鹿沼	3	69.90	74.47	62	63	0	1	2	1	1	1
	今市	4	91.87	90.92	41	41	0	0	0	0	0	0
	鹿沼東	4	88.46	92.31	43	43	0	0	0	0	0	2
	粟野西方	4	87.00	90.61	13	12	0	1	0	1	-1	1
	鹿沼中央	4	83.34	83.25	27	28	0	0	1	0	1	2
	今市きぬ	4	90.12	90.95	27	27	0	0	1	1	0	0
第8グループ	足利	4	67.64	71.89	36	36	0	1	1	1	0	0
	足利東	3	70.89	75.28	58	58	0	0	0	0	0	8
	足利西	4	78.83	77.98	13	13	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	4	95.97	97.92	28	31	0	0	3	0	3	0
第9グループ	佐野	4	89.05	89.57	60	66	0	0	6	0	6	0
	葛生	4	86.90	90.93	32	33	0	0	1	0	1	0
	田沼	3	90.93	90.71	36	36	0	0	0	0	0	0
	佐野東	4	90.91	87.69	22	22	0	0	0	0	0	0
	岩舟	4	61.00	70.58	21	21	0	0	0	0	0	1
	5 0 R C		83.35	84.56	1691	1705	0	17	41	29	12	66

文・庫・通・信（292号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー５０周年記念事業の１つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧はもちろん、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。右資料のご紹介をいたします。

●最近のロータリー情報から

申込先：ロータリー文庫（コピー / PDF）

「クラブ活性化の為の知恵（米山梅吉記念館館報）	大澤德平	2011／1p（D.2640月信）
「ロータリーの意味論(3)人間モラトリアム」	久野　薫	2011／4p
「ロータリーの意味論(4)因縁果律」	久野　薫	2011／4p（D.2680月信）
「ロータリーの意味論(5)犠牲なき奉仕」	久野　薫	2011／4p（D.2680月信）
「基本」	玉井公詞	2011／1p（D.2650月信）
「会員増強におもう」	杉本　直	2011／1p（D.2650月信）
「最近思うこと」	大西省司	2011／1p（D.2650月信）
「例会は楽しいですか~『職業奉仕について』」	森　玄房	2011／2p（D.2550月信）
「日々是職業奉仕」	大澤德平	2011／1p（D.2640月信）
「10月職業奉仕月間に因んで」（国際ロータリー・ニュース）	米田眞理子	2011／2p（D.2640月信）

ロータリー文庫
〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL　03-3433-6456　　FAX　03-3459-7506　　URL　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館時間：午前10時～午後5時　　休館日：土・日・祝祭日

各ロータリークラブでおしらせしたい情報がありましたら、事務局まで原稿をお寄せください。